

第7回発達系理学療法シンポジウム／第18回肢体不自由児事例検討会 ～小児／発達領域の理学療法と作業療法～

(公社)大阪府理学療法士会
障害児保健福祉部 榎勢道彦

1. 開催趣旨

この度、第7回発達系理学療法シンポジウムと第18回肢体不自由児事例検討会を連日企画として、小児／発達領域の理学療法と作業療法をテーマに行うことといたしました。近年、子どもと家族を取り巻く社会環境は大きく変化してきており、私たちが働く環境、担う役割もさまざまになってきています。しかしその反面、変わらない本質的な専門性もあります。

その本質というのはRosenbaum(2012)が提唱する「F-words」:Fitness 呼吸機能を含めた健康支援、Function 機能を発揮する機会、機能の喜び、Friends 参加とは人との関わり、Family 子どもにとって環境因子の中で最も重要な家族、そして家族支援、Fun 限定された好みではなく、多様なことを楽しめる個性、そして、Future 大人になった子ども達、自立に向けた道のりの支援にあるのだと考えます。

今回は、小児／発達領域の理学療法と作業療法の立場から、大人になった子ども達の暮らし、姿勢保持、活動参加、家族支援についての話題提供・シンポジウム&事例検討を2日間にわたって行います。

私たちはそれぞれの環境、ライフステージでどのような役割を担っているか、また、その中で専門性をどう磨いていくか、関係職種を含めた皆様と内容を深め、情報交換、情報共有、ネットワーク作りを行うことを目的として開催いたします。

2. 日時

1日目 2019年2月9日(土) 午前9時30分から午後5時00分

2日目 2019年2月10日(日) 午前9時30分から午後4時00分

※両日とも午前9時00分から受付開始

※各シンポジウムごとに参加者との意見交流を行う時間を設けます。

3. プログラム (内容は変更することがあります)

★進行:理学療法士 榎勢道彦;(公社)大阪府理学療法士会 障害児保健福祉部 部長

四天王寺富田林障害児者医療福祉センター 四天王寺和らぎ苑 リハビリ長

作業療法士 松本茂樹;(一社)大阪府作業療法士会 副会長

堺市立重症心身障害者(児)センター ベルデさかい リハビリテーション部長

★1日目 2019年2月9日(土)

● オリエンテーション (9:30-9:40)

● シンポジウム①「大人になった子ども達の暮らしを考える」(9:40-12:10)

話題提供①「理学療法士としての経験から」 理学療法士 榎勢道彦

話題提供②「作業療法士としての経験から」 作業療法士 松本茂樹

● 事例検討1 (13:10-14:20)

● シンポジウム②「姿勢保持」(14:30-17:00)

話題提供①「理学療法の視点からの姿勢保持」 理学療法士 榎勢道彦

キーワード：姿勢制御機能の発達、胸郭呼吸運動の発達、変形拘縮

話題提供②「作業療法の視点からの姿勢保持」 作業療法士 松本茂樹

キーワード：姿勢保持と活動、暮らしの中での姿勢保持

※18:00～懇親会を予定しています。

★2日目 2019年2月10日(日)

● シンポジウム③「活動参加」(9:30-12:00)

話題提供①「活動分析の視点」

作業療法士 松本茂樹

キーワード：日常生活活動、活動と参加、環境

話題提供②「参加の継続を支える」

理学療法士 榎勢道彦

キーワード：移動、呼吸、運動学習

● 事例検討2 (13:00-14:10)

● シンポジウム④家族支援 (14:20-16:00)

話題提供①「育児を支える視点から」

理学療法士 榎勢道彦

話題提供②「社会資源の視点から」

作業療法士 松本茂樹

(16:00 終了)

4. 会場 山西福祉記念会館 (〒530-0026 大阪市北区神山町11-12)

5. 対象 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護福祉士、教員、保育士等、障害のある子どもたちに関わっておられる専門職種の方々

6. 定員80名

7. 参加費 無料

8. 参加申込締切 2019年1月18日(金) ※応募多数場合、選考となる場合があります。

9. 申込方法

下記の連絡先にEmailにて参加申し込みしてください。「件名」に「小児/発達領域の理学療法と作業療法」と明記の上、①氏名/②メールアドレス/③職種/④所属先/⑤経験年数/⑥シンポジウムで取り上げたい内容/⑦懇親会参加希望の有無を記入してお申し込みください。

連絡先 Email : osakaptchild@gmail.com 担当：岡田

第7回発達系理学療法シンポジウム／第18回肢体不自由児事例検討会
～小児／発達領域の理学療法と作業療法～

9:00	受付		9:00
9:30	オリエンテーション		9:30
9:40	大人になった子ども達の暮らしを考 える	「理学療法士としての経験から」 理学療法士 榎勢道彦 50M	「活動分析の視点」 作業療法士 松本茂樹 50M
10:30		作業療法士としての経験から」 作業療法士 松本茂樹 50M	「参加の継続を支える」 理学療法士 榎勢道彦 50M
11:30		シンポジウム 30M	シンポジウム 30M
11:40			活動参加
12:10	昼休憩		12:00
13:10	事例検討1 70m		12:00
14:20			13:00
14:30	姿勢保持	「理学療法の視点からの姿勢保持」 理学療法士 榎勢道彦 50M	「育児を支える視点から」 理学療法士 榎勢道彦 30M
15:20		「作業療法の視点からの姿勢保持」 作業療法士 松本茂樹 50M	「社会資源の視点から」 作業療法士 松本茂樹 30M
16:20		シンポジウム 30M	シンポジウム 30M
16:30			14:10
17:00			14:20
18:00	懇親会		14:50
			15:20
			15:30
			16:00
			家族支援